2025-26
WEEKLY BULLETIN
Rotary Club of Mino-o
国際ロータリー 第 2660 地区　箕面ロータリークラブ

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

会長 木村知也　幹事 高橋太朗　広報委員長 森田雅之
国際ロータリー会長　フランチェスコ・アレッツォ
国際ロータリー 第 2660 地区ガバナー　吉川 健之

真実から目をそむけることはできない。助けを求めることは勇気ある行動です。
健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気がいることです

例会場 「NORTH GARDEN」　例会日　毎週木曜日 18:30～
事務局　〒562-0014 箕面市萱野 4-2-43 ウィル包装ビル 403 号室　Tel:072-724-2781　Fax:072-724-1786
Email ： mino-orc@abeam.ocn.ne.jp　HP ： http://mino-orc.net/

NO.2645
2025 年 9 月 20 日

●本日の例会プログラム
2025 年 9 月 20 日(土) 第 2655 回例会
BBQ 大会

会場:『服部緑地公園内』

●次回の例会プログラム
2025 年 9 月 25 日(木) 第 2656 回例会
卓話　山本貴雄会員、西田　泰会員

会場:『NORTH GARDEN』

❖前回例会❖

出席報告
・2025 年 9 月 11 日(木)第 2654 回
会員数 33 名　出席者 18 名(出席率 58.06%)
【配布物】なし

❖会長挨拶❖　木村　知也

今週は地区ロータリー財団セミナーに参加してまいりました。今回でおそらく 4 回目の財団補助金セミナーへの参加となりましたが、正直なところ、既に聞いたことのある内容が多く、半分ほどは眠気と戦っておりました。
何度も耳にしているとはいえ、ロータリー財団の全体像を完全に理解し、皆様に詳細に説明できるわけではありません。 当日の配布資料を LINE にて共有いたしますので、ぜひご一読いただき、理解を深めていただければと思います。

さて、「ロータリーの友」9 月号の記事の中で、特に印象に残った取り組みをご紹介します。 オーストラリアのバリナ・オン・リッチモンド・ロータリークラブでは、1 年間限定で実施した DV 撲滅キャンペーンが地域を巻き込む活動へと発展し、継続事業となりました。 この活動に魅力を感じた若者や企業会員が次々と入会し、活動開始から 2 年で会員数が 33 人から 76 人へと倍増したそうです。この数字の伸びは、単なる広報ではなく“共感”と“参加の場”があったからこそだと思います。
このような成功事例を積極的に吸収していくことが、今後の会員増強のヒントになるのではないかと感じています。 地区の各種セミナーでも、必ずと言っていいほど会員増強の重要性が語られ、実際に会員数を増やしているクラブの事例が紹介されますので、地区セミナーに参加されたことが無い方は是非参加ください。
同じく「ロータリーの友」9 月号に掲載された、フランチェスコ・アレッツォ RI 会長のメッセージには、「ロータリーは映画館のようにただ座って誰かが何かをするのを『見る』場所ではなく、自分が何かを『する』ために『関わる』場所なのです」という言葉がありました。まさに、私たち一人ひとりが主体的に関わることの大切さを改めて感じさせられます。受け身ではなく、能動的に関わることでこそ、ロータリーの価値が生まれるというメッセージは、会員一人ひとりの意識改革にもつながりそうです。

また、10 月 4 日(土)・5 日(日)には「みのお祭り」が開催されます。 例年、昼から夜にかけての時間帯には多くの参加者が集まりますが、初日朝の準備時間帯は参加者が少なく、一部の会員に大きな負担がかかっている状況です。 祭りへの参加はもちろんのこと、初日の準備にもぜひご協力いただけますようお願いいたします。イベントの成功は「裏方の力」に支えられていますし、準備段階から関わることで、より深い達成感も得られるはずです。

なお、9 月 14 日の週にはロータリー関連の行事が 4 件も予定されており、忙しい一週間となりそうですが、精一杯取り組んでまいります。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

☑ 4 つのテスト　言行はこれに照らしてから
01 真実かどうか　02 みんなに公平か　03 好意と友情を深めるか　04 みんなのためになるかどうか

❖幹事報告❖　高橋　太朗

9 月の例会
20 日(土)　バーベキュー大会
25 日　　高橋会員カルガリー国際大会報告
　　西田会員・山本会員日台親善会議報告

・10/4,5 箕面まつり
　本日予定表を廻しますので記載をお願いします。少しの時間でも結構ですので、ご参加ください。特に初日 4 日の 11 時 30 分からは、出店準備がありますの多数のご参加をお願いします。

・2025-26 年度「END POLIO NOW 秋のチャリティ盆踊り」のご案内及び
　協賛・グッズ購入のお願い
　　日時：2025 年 10 月 19 日(日)10 時～16 時
　　場所：靭公園 東園
　　プログラム：飲食／遊びブースの運営・盆踊り
　　入場料：無料

❖理事役員会報告❖

審議事項
　・IM について　→承認
　・BBQ 例会について　→歌と奉仕金はなし、会費承認
　　最少催行人数10名、15時以降は要確認
　・エヴェッサ観戦について
　　→例会とはせず、有志の観戦会とする
　・箕面まつり収益について　→承認

❖委員会報告❖

親睦活動委員長　西田　泰

9/20BBQ 例会について

日 時 2025 年 9 月 20 日(土)
　午後 13 時～15 時まで
会場　服部緑地 BBQ エリア谷あいの原っぱ
　　〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地1丁目1
会 費 ¥3,000(会員・ゲスト共通)※ご家族の方は参加費不要
その他　お食事のご準備の都合上、ご出席・ご欠席のご連絡は 9 月 16 日(火)までに 事務局へお願いいたします。

❖SAA報告❖　水島　教絵

ニコニコ
庄司修二会員：水島さん、よろしく！
道林侑輝会員、林たかみ会員、河野優作会員、木村貞基会員、木村知也会員、黄堂泰昌会員、上田紘史会員、浦収会員、山口拓志会員、山本貴雄会員、山根ひとみ会員

米山奨学会
芝野弘三郎会員：IM 頑張りましょう
道林侑輝会員、河野優作会員、木村貞基会員、黄堂泰昌会員、西脇悟会員、庄司修二会員、上田紘史会員、浦収会員、山根ひとみ会員

ロータリー財団
河野優作会員、木村知也会員、黄堂泰昌会員、庄司修二会員、上田紘史会員、浦収会員、山本貴雄会員、山根ひとみ会員

ポリオ
片山秀樹会員、木村知也会員、西脇悟会員、山根ひとみ会員

恒久基金
西脇悟会員、山根ひとみ会員

❖卓話　IM 実行委員会❖

IM 実行委員長　林　たかみ

国際ロータリー第 2660 地区　IM 第1組
『2025-2026 年度ロータリーデー』概要
日時：2026 年 3 月 21 日(土)　13:00－16:30(調整中)
会場：オービックホール
大阪市中央区平野町4丁目2－3オービック御堂筋ビル 2F

　IM とは、インターシティ・ミーティング(Intercity Meeting)の略称です。2660 地区では1組から 6 組に分かれ、共通のテーマで語り合い、親睦を深めるために開催されます。
　近年各ロータリークラブは高齢化と共に会員数が減少の一途をたどり、会の運営にも深刻な影響をもたらしています。会員増強の為、世界中で様々な取り組みがされていますが、今回私共箕面 RC も、ホストクラブとして IM ロータリーデー(以下「IM」とします)を企画するにあたり、ロータリークラブが活性化する為には何が必要か、改めて議論しました。結果、ロータリーには、学ぶ機会や楽しむ機会、そして感動する瞬間を共有できる仲間づくりが不可欠であり、今回の IM でそれを少しでも実現しようという話になりました。

そこで今回は、講演会等一方的に話を聞くような IM ではなく、参加者一人一人が主体的に考え、発言し、ディスカッションできるような企画をメインとし、会員一人一人がこの日の主役となる、インタラクティブなロータリーデーを目指したいと思います。

IM は本来、自クラブを超え他クラブのロータリアンとの親睦を深め、より大きな奉仕活動を計画・実行するための重要な機会となるべきです。親睦を愉しみながら学ぶ機会を設け、今後の個々のロータリーライフ及び自クラブの運営と活性化にも生かせるような気づきを持ち帰っていただく、そこに主眼を置いた企画を考えました。

【企画案】
テーマ「ロータリアン、この瞬間を愉しもう！～学び、愉しみ、感動の瞬間を共有～」

㈱IKUSA による謎解き脱出ゲーム「ポールハリスからの挑戦状（仮称）」RC オリジナル ver.

㈱IKUSA は大手企業や各種団体などに遊びを通して研修プログラムを提供する会社として、国内で年間 1,000 件を超えるイベントを開催しています。謎解き脱出ゲームとは、少人数のチームで、情報共有と役割分担を行いつつ、会場の卓上の印刷物やアイテム、会場内にちりばめられたパネルなどを使いながら難問を解き、密室（架空空間）から時間内の脱出（ゲームクリア）を目指す研修用プログラムです。今回その謎に、ロータリーの知識をおりこんだロータリーオリジナル・バージョンを、当クラブと㈱IKUSA で作り上げ、実施します。

参加者は全員 12 クラブ混合のチーム（1 チーム 6 名程度）に分かれていただき、新しく仲間となったロータリアン達と協力して謎解きに挑戦、脱出を目指していただきます。その過程では、チームワークが非常に重要となり、いかに自分の意見を出しながらも仲間のアイデアを聞き、発想を広げていくか、それぞれのチームの結束力が試され、ロータリアンには不可欠なチームビルディングを学ぶ機会にも繋がります。

さらに、ロータリーについて学ぶ機会ともなり、チームの中で生まれるロータリアン同士の絆、謎が解けた瞬間の感動や一体感を共に感じていただくことで、ロータリーの魅力を再発見してもらい、今後のロータリー活動のヒントや活力としていただけるような 1 日にしたいと考えております。